



ケージフリー トラッカーレポート

2023 年度版

📍 アジア

序文

毎年、何百万もの卵はバタリーケージで飼育された鶏によって生産されています。バタリーケージは、残酷な生産システムであり、欧州連合、カナダ、ニュージーランド、米国9州を含む世界中の多くの国で禁止されています。

バタリーケージは、鶏の本能的な行動を奪い、A4用紙よりも小さなスペースで生活することを余儀なくされています。普段は好奇心旺盛な動物たちは、自由に歩いたり羽を完全に伸ばしたりすることができず、深刻な身体的および精神的苦痛を受けやすくなります。この苦痛が世界的にまだ蔓延していることは憂慮すべきことです。

アジアの卵産業の厳しい現実にもかかわらず、私たちSinergia Animalは将来に対して楽観的でありたいと考えます。近年、中小企業から大企業まで、数百の食品会社が、特定の期限内にサプライチェーン全体でバタリーケージをやめてケージフリーシステムを採用することを公に表明しているのは、心強いことです。このようなコミットメントは、何百万羽もの鶏の苦しみを軽減するものであり、私たちは、より人道的な卵産業への一歩を踏み出したこれらの企業に心から賞賛を送ります。

しかし、変革へのコミットメントは始まりにすぎないと私たちは認識しています。企業は確実に実行可能なステップを踏み、その進捗状況を追跡し、公約を果たす必要があります。このため、私たちはケージフリートラッカーを立ち上げました。これは、アジアの卵供給チェーン全体でケージの廃止を推し進めている企業の透明性と認識を提供します。

2023年には、さらに17社の企業が進捗状況を報告しました。これは、報告が企業の年間計画の一部になりつつあり、企業がサプライチェーンにおける地域的なケージフリーの進捗について、よりオープンで透明性を高める必要性を認識していることを意味すると私たちは考えています。

数百社の企業の進捗状況を取り上げることで、私たちは意識を高め、他の企業にこれらの残虐行為を生産チェーンから排除していただくことを促し、最終的にはアジア全域で鶏をケージから解放させることを目指します。



ウィチャヤパット・ピロムサン
代表取締役社長 - タイ

目次

- 1 アジアのケージフリー運動
- 5 ケージフリー方針とは?
- 7 調査の経緯
- 9 調査結果
 - 10 全体の参加率
 - 11 2022年以前にコミットメントを行った企業
 - 12 国別の参加率
 - 13 ティア
 - 15 ティアランキング（国別）
- 21 その他の主要データ：数字によるレポート
- 25 課題
- 26 タイのケージフリー生産者
- 29 次のステップ



Sinergia Animal 2023年11月作成

本レポート内容は2023年7月31日付の情報です。以後、各社から提供された本レポートの出版にあたり、ご協力いただいたパートナー企業であるAnimal Friends Jogja、Mercy For Animalsに心より感謝申し上げます。

貢献者

エグゼクティブコーディネーション:
フィチャモン（アマンダ）・タマスック、ウィチャヤパット・ピロムサン

編集コーディネーション:
アリーヌ・ハローニ

調査責任者:
フィチャモン（アマンダ）・タマスック

コンテンツ:
ファディラ・ラーマ・ヌール・リスティヤンティ、イアラ・ファン
ディニョ、ヤナファット・ブーンクラシー

デザイン:
セカリゲシ・アティラ・ディアイマン

ウェブデザイン:
ジュリエッタ・ガロ

www.cagefreetracker.com

アジアのケージフリー 一運動

アジアは、世界の卵市場において重要な役割を果たしています。[世界最大の卵生産地域](#)であり、世界の生産量の64%以上を占めています。残念ながら、アジアの産卵鶏の[ほとんど](#)は、ケージで飼育されています。これらの統計から、鶏卵および食品産業におけるより良い慣行が、何百万羽もの鶏の生活に多大な影響を与えることを垣間見ることができます。

近年、アジアにおけるケージフリーの卵生産が加速しており、多くの企業や生産者が、[産卵鶏の福祉向上](#)を求める消費者の高まりに応じて、ケージフリーの飼育方法を採用しています。

多くの企業が現在、自社の製品にケージフリーの卵を使用しており、中には方針を発表した後にそうしている企業もあります。



これらのコミットメントは、ホスピタリティ、小売、レストラン、日用消費財など、さまざまな業界から打ち出されています。



POTATO HEAD (ポテトヘッド)

インドネシアを代表するホスピタリティとライフスタイルブランドであるPotato Headは、国内各地にホテル、レストラン、バーを展開しています。



CHATRIUM HOTELS AND RESIDENCES

(チャトリウムホテル&レジデンス)

タイに拠点を置く不動産管理会社で、タイ、ミャンマー、日本で高級宿泊施設を展開しています。



ISMAYA GROUP イスマヤグループ

このインドネシアのライフスタイルとホスピタリティの会社は、レストラン、バー、カフェ、その他のエンターテインメント施設を含む20のブランドで100店舗を展開しています。



HOKKAIDO BABY (北海道ベビー)

インドネシア全土に多くの店舗数を展開している、有名なチーズタルト専門店です。このベーカリーは、高級なフランスおよび日本のケーキ、パン、クッキーを中心に扱っています。



LEMON FARM (レモンファーム)

タイのバンコクに拠点を置く企業で、都市部で持続可能でオーガニック、健康的な食品を提供することを専門としています。このブランドは品質を重視し、果物や野菜など、新鮮な食品を幅広く取り揃えています。

オープン・ウィング・アライアンスの勝利

さらに2022年には、Open Wing Allianceを通じて、アジアで5つのコミットメントを達成し、Associated British Foods、Panda Express、Toridollなどより、アジア諸国に影響を与える45のコミットメントが出されました。

45 アジア諸国に影響を与える追加公約

05 アジアでのコミットメント

これらの企業は、他の企業の模範となり、消費者の需要に応えるために生産方法を変更しなければならないことをサプライヤーに明確に示しています。これらの企業がケージフリーの未来に向けて道を示すにつれて、他社も追随すれば、その影響の拡大は加速していくと予想されます。

そのため、今年ケージフリートラッカーアジアの第2版で、生産者の視点とこの運動への貢献についても取り上げることにしました。これについては、生産者のランキングを扱う章をご参照ください。

アジアにおける生産者、小売業者、消費者間の協力を通じて、動物福祉と食品安全を食品産業の優先事項とし、これらの問題にますます関心を持つ消費者の需要に応えることで、より人道的で持続可能な食料システムを構築することができます。

ケージフリーとは?

ケージフリーシステムは、南半球の多くの国々で卵生産の主流となっているバタリーケージによる非人道的な慣行に代わるものとして、ますます人気が高まっています。商業的な卵生産に使用される何億もの鶏は、一生涯バタリーケージに入れられ、これは動物農業において最も残酷な慣行の1つと考えられています。

バタリーケージは窮屈で、鶏にA4用紙よりも小さな生活空間しか与えられません。鶏は自由に歩くことも、完全に体を伸ばしたり羽ばたいたりすることもできません。鶏は本来社会的な動物ですが、社交することは疎か、最も基本的な行動をとることができなくなり、悲惨な生活を強いられます。

ケージフリーシステムは、動物の苦しみを大幅に軽減する可能性があります。ケージフリーシステムでは、鶏は鶏舎（屋外への出入りの有無にかかわらず）で生活し、藁や止まり木など、豊富な設備が整えられた場所にアクセスすることができます。



バタリーケージ

の実態



痛み

雌鶏は骨粗しょう症などの骨疾患のリスクが高く、痛みを伴う骨折になりやすくなります。鶏は足に痛みを伴う金属製の格子の上に立っています。



スペースの不足

小さなケージに最大12羽が詰め込まれることがあります。これは通常、それぞれの鶏が住むスペースがA4サイズの紙よりも狭いことを意味します。



不衛生な環境

時には死亡した鶏が何日も放置され、生き残った鶏は足元で腐敗した死体とともに暮らすことを余儀なくされます。ケージの下に溜まった糞の山の上で暮らすことを強いられるのです。



ストレス

鶏は、羽を広げたり、自由に歩いたり、巣を作ったりといった自然な行動ができません。そのため、彼らは常にストレスを感じています。



公衆衛生

欧州食品安全機関（EFSA）は、ケージシステムはケージフリーシステムに比べてサルモネラ菌の有病率が高いと結論付けています。

ケージフリー 方針とは？

卵産業で長らく使用されてきた残酷なバタリーケージシステムを廃止することを誓う企業が増えています。このバタリーケージからの大幅なシフトは、国内企業から多国籍企業まで、一定期間内にケージフリーへの移行を公に約束することによって行われています。





ケージの使用をサプライチェーンから排除することを公約することにより、これらの企業は、長年畜産農業で最悪の形態の拘束にさらされてきた何百万羽もの鶏の激しい苦しみを軽減するために、大きな一歩を踏み出しています。このケージフリーシステムへの移行は、ポジティブな変化の波及効果を生み出す可能性もあります。

しかしながら、単に方針を策定するだけでは十分ではありません。これらのコミットメントが意味のある影響を与えるためには、具体的な変更と進捗状況の追跡が必要であり、それらが確実に履行されるようにする必要があります。企業のサプライチェーン全体でケージの使用を廃止する取り組みの透明性と認知は、企業が真の変化をもたらす責任を担うため極めて重要です。



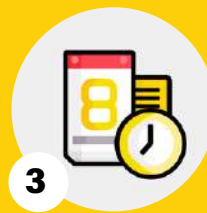
1

企業が自社の製品に卵を使用、またはスーパーマーケットが卵を販売します



2

- A. C企業がケージフリー農場の卵のみを使用または販売することを公約するコミットメントを公表します
- B. 企業が方針を公表しない場合、Sinergia AnimalのようなNGOが対話と交渉で企業に公約を要請します



3

企業は変革を実行に移し、期限内に100%ケージフリー卵に向けて徐々に前進します



4

ケージフリートラッカーは、企業の実施状況、責任を果たすことを監視します

調査の経緯

アジアにおけるケージフリートラッカーの第2版として、Sinergia Animalは、インド、インドネシア、日本、マレーシア、タイの65社の国レベルでのケージフリー卵の調達に関する進捗状況を収集するための調査を実施しました。また、グローバルな方針を持っている企業には、アジアに特化した数字を報告していただきました。

企業の進捗状況を監視するために使用された方法には:



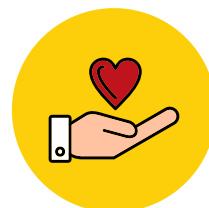
アンケート
当団体独自のアンケート



企業のウェブサイトまたは
レポート
企業のウェブサイトに掲載された
情報を検証



WELFAREPROGRESS
プラットフォーム
[WelfareProgressプラットフォーム](#)
ホーム上のレポート



国内のNGO
国内のNGOとの連携が含ま
れます

企業の選定方法

- ・ 2022年以前にケージフリー方針を発表している企業、および
- ・ 評価対象の5カ国（インド、インドネシア、日本、マレーシア、タイ）のうち少なくとも1カ国に進出している企業

O65社に連絡を取ったところ、36社（55.38%）が回答しました。そのうち、21社（32.3%）がアジアでの進捗状況を具体的に報告しました。

65 社に連絡

36 社が回答

52 社がメールやその他のプラットフォームを通じて進捗状況を共有

21 社がアジアでの進捗状況を報告

調査結果に基づいて、企業をAからDまでのティアに分類しました。：

ティア
A

A

アジアまたはアジア諸国で全国的に100%ケージフリー卵の調達に完全に移行した企業。

ティア
B

B

明確なタイムラインを持ってコミットしており、ケージフリー方針の実施状況がアジアまたは全国でどの程度進んでいるかを共有している企業。進捗率は0%から99%までです。

ティア
C

C

ケージフリー卵に取り組んでおり、ケージフリーの進捗状況をある程度共有しているものの、地域的または全国的な進捗情報が不足している企業。

ティア
D

D

ケージフリーのコミットメントを行っているが、世界的、地域的、または全国的な進捗状況についての報告がない企業。

2023 年調査結果














































































































重要なハイライト

- 2022年のレポートと比較し、2023年にはプログラムへの参加について回答した企業が6.25%増加しました。また、アジアに関する進捗情報を共有した企業数は、前年度のレポートに比べ162.5%増加し、2022年の8社から2023年には21社に増加しました。
 - 本レポートに掲載されたケージフリーの進捗状況を評価した企業は、多岐にわたる業界を代表するものです。： ホテル21社、カフェ・ベーカリー8社、外食産業5社、旅行・観光産業2社、製造業11社、レストラン14社、小売業4社。
 - アジアにおける進捗状況を報告した企業のうち、インドネシアの2社、Mediterranea Restaurant by Chef Kamil および Pizza Express は、今年、公約に従い100%ケージフリー卵への移行に成功しました。これにより、M&S、Hain Celestial Group、Danoneなど他の55社とともにティアAにランク付けされました。
 - 2022年に調査した45社中12社（26.7%）が今年順位を上げました。
- Minor Food、Minor Hotels、Pizza Express、Compass Group、AutoGrill HMSHost、Hilton、Hyatt、ISS World、Radisson Hotel group、RBI、Unilever、The Peninsula Hotels がティアBに昇格しました。一方、Grupo Bimbo、Kempinski、Mandarin Oriental、McCormick、Puratos、Starbucks、Travel + Leisure Co. (旧Wyndham Destinations) の7社（15.6%）がティアCに昇格しました。その結果、下位層の企業は減少しました。ティアCは2022年の54%から2023年の47.7%に、ティアDは同期間の30%から20%に減少しました。これは、より多くの企業が目標に向けて対策を講じているというポジティブな傾向を示しています。
- 日本とタイは、それぞれ46社と47社と、評価された企業総数が最も多くなっています。一方、インドネシアは、アジアまたは国内で進捗状況を報告した企業数が17社と、地域的に進捗状況を報告した企業数が最も多くなっています。対照的に、マレーシアは、評価された企業数が35社、アジアまたは国内で進捗状況を報告した企業数が11社と、取り組みが最も少ないことが明らかになっています。







全体の参加率

合計 65 社の国内企業および多国籍企業に連絡を取り、そのうち 36 社（55.38%）から回答があり、29 社（44.62%）からは回答がありませんでした。65社中52社（80%）の企業が、当団体の調査や WelfareProgress、および自社の出版物を通じて何らかの進捗状況を報告しており、特にアジアにおける進捗状況を報告している企業は65社中21社（32.3%）でした。

連絡を取った企業一覧：

- | | | |
|---|--|--|
| 1. Accor  | 24. Inspire Brands  | 46. Orkla  |
| 2. Aman    | 25. ISS World    | 47. Pepsico     |
| 3. Au Bon Pain  | 26. Kempinski  | 48. Pierre Herme   |
| 4. Autogrill HMSHost  | 27. Kraft Heinz  | 49. Pizza Express   |
| 5. Best Western  | 28. Krispy Kreme  | 50. Puratos  |
| 6. Central Food Retail  | 29. Langham Hospitality Group   | 51. Radisson Hotel group  |
| 7. Club Med    | 30. Le Pain Quotidien  | 52. RBI  |
| 8. Compass Group    | 31. Lotus's  | 53. Rewe  |
| 9. Costa Coffee     | 32. Mandarin Oriental     | 54. SaladStop!    |
| 10. Elior Group  | 33. Marriott  | 55. Shake Shack   |
| 11. Focus Brands  | 34. McCain Foods  | 56. Sodexo  |
| 12. Food Passion  | 35. McCormick    | 57. Spur Corporation   |
| 13. Four Seasons  | 36. Mediterranea Restaurant by Kamil  | 58. SSP   |
| 14. General Mills  | 37. Melía Hotels   | 59. Starbucks  |
| 15. Groupe Holder  | 38. Metro AG  | 60. Subway  |
| 16. Groupe Le Duff  | 39. MGM Resorts International  | 61. The Peninsula Hotels    |
| 17. Grupo Bimbo  | 40. Millennium & Copthorne Hotels    | 62. Travel + Leisure Co. (formerly Wyndham Destinations)     |
| 18. Hilton  | 41. Minor Foods   | 63. Unilever  |
| 19. Hotel Matsumoto   | 42. Minor Hotels     | 64. Wyndham Hotels    |
| 20. Hyatt  | 43. Mondelez  | 65. Yum! Brands  |
| 21. IHG  | 44. Nestlé  | |
| 22. Ikea  | 45. Norwegian Cruise Line   | |
| 23. IMU Hotel Kyoto   | | |

キャプション：

- | | | |
|--|---|---|
|  インド |  マレーシア |  調査対象5カ国すべてに |
|  インドネシア |  タイ | 進出している企業 |
|  日本 | | |

2022年以前にコミットメントを行った企業

さらに**55社**が2022年までに適切なケージフリーのコミットメントを確立し、アジアまたは国内規模で100%ケージフリーのサプライチェーンへの移行に成功しました。こうした企業の進捗**状況は公表されている**ことから、当社が連絡を取ることはなかったため、参加率には含めていません。また、この一覧には生産者や農場は含まれていません。

- | | | |
|-------------------------------------|--|--|
| 1. Asukayama Terrace | 20. Hotel Continental Fuchu | 38. Ranko-An |
| 2. Barilla Group | 21. Innovation Design Co., Ltd. | 39. Ricco gelato Co., Ltd. |
| 3. Bridor | 22. Kebun Roti | 40. Rustica |
| 4. Cabinet Office Cafeteria (Japan) | 23. Kijima (杵島) | 41. San-no-Hachi (サンノハチ) |
| 5. Carma | 24. Kodawariya (こだわりや) | 42. Sekizuka Farm |
| 6. Chocolate Monggo | 25. Lemon Farm | 43. Shizen ran Noen (自然卵農園) |
| 7. Costa Vista Okinawa Hotel & Spa | 26. Little Garden | 44. Soréal Ilou |
| 8. Daichi wo Mamoru-kai | 27. Loc Maria Biscuits | 45. Sunshine Market |
| 9. Danone | 28. Lush | 46. Tabino yado Saikawa |
| 10. Eat Natural | 29. Marks and Spencer | 47. Takahashi Shoten |
| 11. Egg Restaurant Tokyo | 30. Mizunoya | 48. The Hershey Company |
| 12. Fusui Project (風水プロジェクト) | 31. My Little Warung | 49. Toritama-Kobo (とりたま工房) |
| 13. Hachikatte | 32. Nanakusa no Sato | 50. ViaVia Artisan Bakery & Deli |
| 14. Hain Celestial Group | 33. Pantry & Lucky
(パントリー&ラッキー) | 51. Warung Bumi Langit |
| 15. Healthy Mate (ヘルシーメイト) | 34. Papacaldo | 52. Yabbiekayu Restaurant and Eco
Bungalows |
| 16. Hiyokono Cafe House | 35. Papadopoulos S.A. | 53. Yayasan Bringin |
| 17. Horizon Farms | 36. Potato Head | 54. Yoneya |
| 18. Hormel Foods | 37. Pullman Tokyo Tamachi
(Accor Group) | 55. Yudanaka Onsen Pudding |

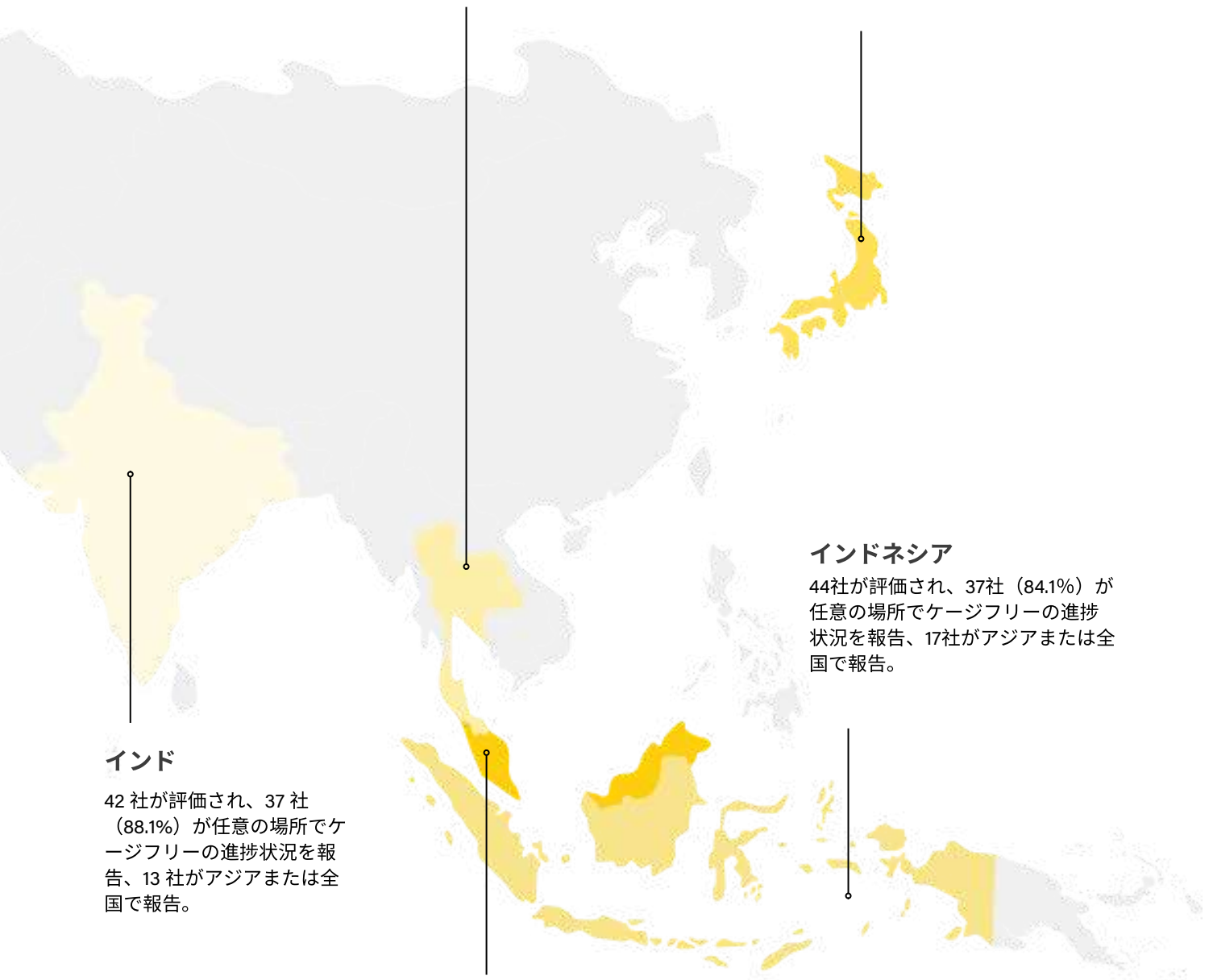
国別の参加率

タイ

35社が評価され、29社（82.86%）が任意の場所でケージフリーの進捗状況を報告、11社がアジアまたは全国で報告。

日本

46社が評価され、37社（80.4%）が任意の場所でケージフリーの進捗状況を報告、14社がアジアまたは全国で報告。



インド

42社が評価され、37社（88.1%）が任意の場所でケージフリーの進捗状況を報告、13社がアジアまたは全国で報告。

インドネシア

44社が評価され、37社（84.1%）が任意の場所でケージフリーの進捗状況を報告、17社がアジアまたは全国で報告。

マレーシア

35社が評価され、29社（82.86%）が任意の場所でケージフリーの進捗状況を報告、11社がアジアまたは全国で報告。

ティア

調査によって報告された進捗状況に基づいて、企業は A から D までのティアに分類されました。なお、Sinergia Animalは、各社の報告された進捗状況について監査を行っていません。ここに記載された数値は、各企業から提供された情報に基づいています。

ティアA

56社がアジアまたはアジア各国での100%ケージフリー卵の調達に完全移行しました。そのほとんどは前年度に完全移行しているため、今年の調査には参加していませんが、その功績を称えることは非常に重要だと考えています。ただし、今年完全移行したMediterranea Restaurant by Chef KamilとPizza Express Indonesiaは例外です。

- | | | |
|-------------------------------------|---|---|
| 1. Asukayama Terrace | 21. Innovation Design Co., Ltd. | 39. Ranko-An |
| 2. Barilla Group | 22. Kebun Roti | 40. RICCO gelato Co., Ltd. |
| 3. Bridor | 23. Kijima (杵島) | 41. Rustica |
| 4. Cabinet Office Cafeteria (Japan) | 24. Kodawariya (こだわりや) | 42. San-no-Hachi (サンノハチ) |
| 5. Carma | 25. Lemon Farm | 43. Sekizuka Farm |
| 6. Chocolate Monggo | 26. Little Garden | 44. Shizen ran Noen (自然卵農園) |
| 7. Costa Vista Okinawa Hotel & Spa | 27. Loc Maria Biscuits | 45. Soréal Ilou |
| 8. Daichi wo Mamoru-kai | 28. Lush | 46. Sunshine Market |
| 9. Danone | 29. Marks and Spencer | 47. Tabino yado Saikawa |
| 10. Eat Natural | 30. Mediterranea Restaurant by Kamil | 48. Takahashi Shoten |
| 11. Egg Restaurant Tokyo | 31. Mizunoya | 49. The Hershey Company |
| 12. Fusui Project (風水プロジェクト) | 32. My Little Warung | 50. Toritama-Kobo (とりたま工房) |
| 13. Hachikatte | 33. Nanakusa no Sato | 51. ViaVia Artisan Bakery & Deli |
| 14. Hain Celestial Group | 34. Pantry & Lucky (パントリー & ラッキー) | 52. Warung Bumi Langit |
| 15. Healthy Mate (ヘルシーメイト) | 35. Papacaldo | 53. Yabbiekayu Restaurant and Eco Bungalows |
| 16. Hiyokono Cafe House | 36. Papadopoulos S.A. | 54. Yayasan Bringin |
| 17. Horizon Farms | 37. Potato Head | 55. Yoneya |
| 18. Hormel Foods | 38. Pullman Tokyo Tamachi (Accor Group) | 56. Yudanaka Onsen Pudding |




ティアB

20社が期限を明確に定めた公約を掲げ、アジアまたは国内におけるケージフリー方針の実施状況を共有しています。進捗率は0%から99%までです。

- | | | |
|------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 1. Accor | 8. ISS World | 15. Pizza Express |
| 2. AutoGrill - HMSHost | 9. Kraft Heinz | 16. Radisson Hotel group |
| 3. Central Food Retail | 10. Langham Hospitality Group | 17. RBI |
| 4. Compass Group | 11. Lotus's | 18. SaladStop! |
| 5. Four Seasons | 12. Marriott | 19. The Peninsula Hotels |
| 6. Hilton | 13. Minor Foods | 20. Unilever |
| 7. Hyatt | 14. Minor Hotels | |

ティアC

31社がケージフリー卵の公約を掲げ、ケージフリーの進捗状況を共有していますが、地域や全国的な進捗情報が不足しています。

- | | | |
|--|---|---|
| 1. Club Med  | 12. Krispy Kreme  | 24. Shake Shack  |
| 2. Costa Coffee  | 13. Mandarin Oriental  | 25. Sodexo  |
| 3. Elixir Group  | 14. McCain Foods  | 26. Spur Corporation  |
| 4. General Mills  | 15. McCormick  | 27. SSP  |
| 5. Groupe Holder  | 16. Metro AG  | 28. Starbucks*  |
| 6. Groupe Le Duff  | 17. MGM Resorts International  | 29. Travel + Leisure Co. (formerly
Wyndham Destinations)  |
| 7. Grupo Bimbo  | 18. Mondelez  | 30. Wyndham Hotels  |
| 8. IHG  | 19. Nestlé  | 31. Yum! Brands  |
| 9. Ikea  | 20. Norwegian Cruise Line  | |
| 10. Inspire Brands  | 21. Orkla  | |
| 11. Kempinski  | 22. Pepsico  | |
| 12. Krispy Kreme  | 23. Puratos  | |

*Starbucks (スターバックス) のケージフリーへの取り組みは、直営店にのみ適用されます。アジアでは、日本および中国の店舗にのみ適用されます。

ティアD

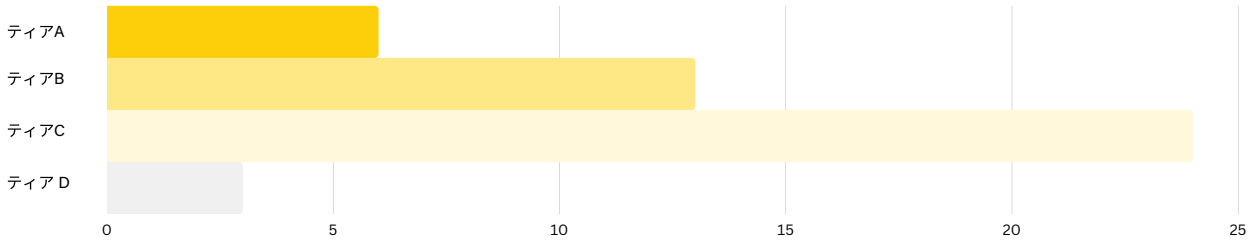
13社がケージフリーの公約を掲げていますが、世界的、地域的、全国的な進捗状況についての報告はありません。

- | | | |
|---|--|--|
| 1. Aman  | 6. Hotel Matsumoto  | 10. Millennium & Copthorne Hotels
 |
| 2. Au Bon Pain  | 7. IMU Hotel Kyoto  | 11. Pierre Herme  |
| 3. Best Western  | 8. Le Pain Quotidien  | 12. Rewe  |
| 4. Focus Brands  | 9. Melía Hotels  | 13. Subway*  |
| 5. Food Passion  | | |

*Subway (サブウェイ) は、進捗状況を報告しておらず、インド、インドネシア、日本についてはコミットメントしていません。

ティアランキング（国別）

インド



ティアA

6社が100%ケージフリー卵をインドまたはアジアで調達することに完全移行しました。

- | | | |
|-----------|-------------------------|------------------------|
| 1. Carma | 3. Hain Celestial Group | 5. Soréal Ilou |
| 2. Danone | 4. Marks and Spencer | 6. The Hershey Company |

ティアB

13社が期限を明確に定めた公約を掲げ、インドまたはアジアにおけるケージフリー方針の実施状況を共有しています。進捗率は0%から99%までです。

- | | | |
|------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. Accor | 6. ISS World | 11. Radisson Hotel group |
| 2. Compass Group | 7. Kraft Heinz | 12. RBI |
| 3. Four Seasons | 8. Marriott | 13. Unilever |
| 4. Hilton | 9. Minor Hotels | |
| 5. Hyatt | 10. Radisson Hotel group | |

ティアC

24社がケージフリー卵の公約を掲げ、ケージフリーの進捗状況を共有していますが、インドやアジアでの進捗情報が不足しています。

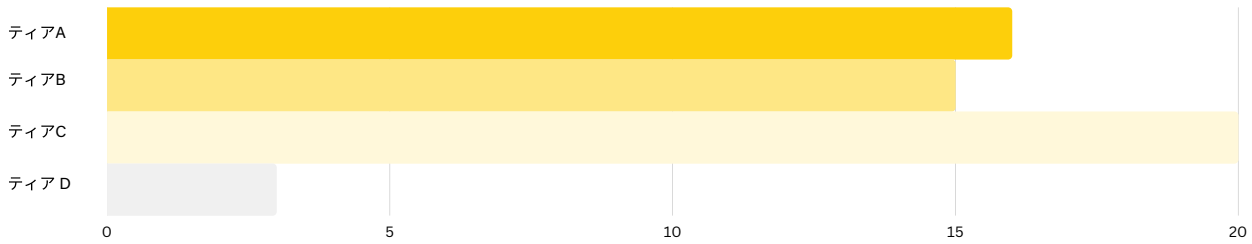
- | | | |
|-------------------|---------------------------|----------------------|
| 1. Costa Coffee | 9. Krispy Kreme | 17. Pepsico |
| 2. Elior Group | 10. McCain Foods | 18. Pizza Express |
| 3. General Mills | 11. McCormick | 19. Puratos |
| 4. Groupe Holder | 12. Metro AG | 20. Sodexo |
| 5. Grupo Bimbo | 13. Mondelez | 21. Spur Corporation |
| 6. IHG | 14. Nestlé | 22. SSP |
| 7. Ikea | 15. Norwegian Cruise Line | 23. Wyndham Hotels |
| 8. Inspire Brands | 16. Orkla | 24. Yum! Brands |

ティアD

3社はケージフリーの公約を掲げていますが、進捗状況を報告していません。

- | | | |
|---------|-----------------|-----------------|
| 1. Aman | 2. Best Western | 3. Focus Brands |
|---------|-----------------|-----------------|

インドネシア



ティアA

16社が100%ケージフリー卵をインドネシアまたはアジアで調達することに完全移行しました

- | | | |
|-------------------------|-------------------------------------|---|
| 1. Bridor | 7. Little Garden | 13. ViaVia Artisan Bakery & Deli |
| 2. Carma | 8. Marks and Spencer | 14. Warung Bumi Langit |
| 3. Chocolate Monggo | 9. Mediterranea Restaurant by Kamil | 15. Yabbiékayu Restaurant and Eco Bungalows |
| 4. Danone | 10. My Little Warung | 16. Yayasan Bringin |
| 5. Hain Celestial Group | 11. Pizza Express | |
| 6. Kebun Roti | 12. Potato Head | |

ティアB

15社が期限を明確に定めた公約を掲げ、インドネシアまたはアジアにおけるケージフリー方針の実施状況を共有しています。進捗率は0%から99%までです。

- | | | |
|----------------------|------------------------------|--------------------------|
| 1. Accor | 6. Hyatt | 11. Minor Foods |
| 2. Autogrill HMSHost | 7. ISS World | 12. Radisson Hotel group |
| 3. Compass Group | 8. Kraft Heinz | 13. RBI |
| 4. Four Seasons | 9. Langham Hospitality Group | 14. SaladStop! |
| 5. Hilton | 10. Marriott | 15. Unilever |

ティアC

20社がケージフリー卵の公約を掲げ、ケージフリーの進捗状況を共有していますが、インドネシアやアジアでの進捗情報が不足しています。

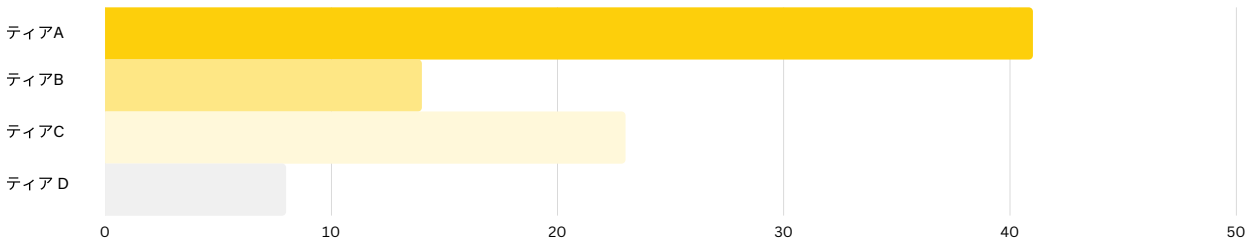
- | | | |
|-------------------|-----------------------|--|
| 1. Club Med | 8. Kempinski | 15. Nestlé |
| 2. Costa Coffee | 9. Krispy Kreme | 16. Puratos |
| 3. General Mills | 10. Mandarin Oriental | 17. Sodexo |
| 4. Groupe Holder | 11. McCain Foods | 18. Travel + Leisure Co. (formerly Wyndham Destinations) |
| 5. IHG | 12. McCormick | 19. Wyndham Hotels |
| 6. Ikea | 13. Minor Hotels | 20. Yum! Brands |
| 7. Inspire Brands | 14. Mondelez | |

ティアD

3社はケージフリーの公約を掲げていますが、進捗状況を報告していません。

- | | | |
|---------|-----------------|----------------------------------|
| 1. Aman | 2. Melía Hotels | 3. Millennium & Copthorne Hotels |
|---------|-----------------|----------------------------------|

● 日本



ティアA

41 社が100%ケージフリー卵を日本またはアジアで調達することに完全移行しました。

- | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|---|
| 1. Asukayama Terrace | 15. Hi yokono Cafe House | 29. Pullman Tokyo Tamachi (Accor Group) |
| 2. Barilla Group | 16. Horizon Farms | 30. Ranko-An |
| 3. Bridor | 17. Hormel Foods | 31. Ricco gelato Co., Ltd. |
| 4. Cabinet Office Cafeteria (Japan) | 18. Hotel Continental Fuchu | 32. Rustica |
| 5. Carma | 19. Innovation Design Co., Ltd. | 33. San-no-Hachi (サンノハチ) |
| 6. Costa Vista Okinawa Hotel & Spa | 20. Kijima (杵島) | 34. Sekizuka Farm |
| 7. Daichi wo Mamoru-kai | 21. Kodawariya (こだわりや) | 35. Shizen ran Noen (自然卵農園) |
| 8. Danone | 22. Loc Maria Biscuits | 36. Tabino yado Saikawa |
| 9. Eat Natural | 23. Lush | 37. Takahashi Shoten |
| 10. Egg Restaurant Tokyo | 24. Mizunoya | 38. The Hershey Company |
| 11. Fusui Project (風水プロジェクト) | 25. Nanakusa no Sato | 39. Toritama-Kobo (とりたま工房) |
| 12. Hachikatte | 26. Pantry & Lucky (パントリー&ラッキー) | 40. Yoneya |
| 13. Hain Celestial Group | 27. Papacaldo | 41. Yudanaka Onsen Pudding |
| 14. Healthy Mate (ヘルシーメイト) | 28. Papadopoulos S.A. | |

ティアB

14 社が期限を明確に定めた公約を掲げ、日本またはアジアにおけるケージフリー方針の実施状況を共有しています。進捗率は0%から99%までです。

- | | | |
|------------------|------------------------------|--------------------------|
| 1. Accor | 6. ISS World | 11. RBI |
| 2. Compass Group | 7. Kraft Heinz | 12. SaladStop! |
| 3. Four Seasons | 8. Langham Hospitality Group | 13. The Peninsula Hotels |
| 4. Hilton | 9. Marriott | 14. Unilever |
| 5. Hyatt | 10. Radisson Hotel group | |

ティアC


23 社がケージフリー卵の公約を掲げ、ケージフリーの進捗状況を共有していますが、日本やアジアでの進捗情報が不足しています。

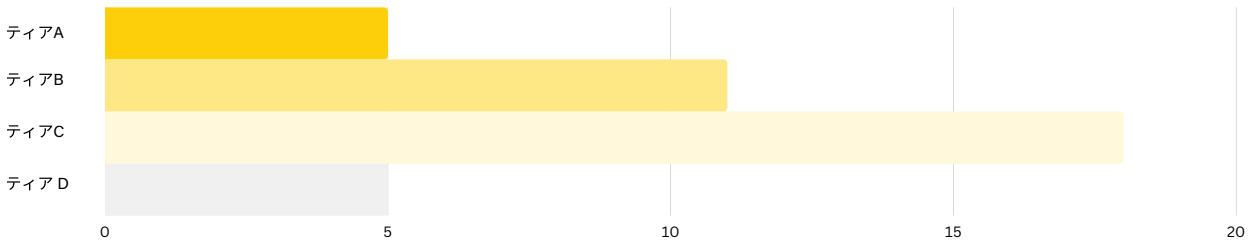
- | | | |
|-------------------|-------------------------------|---|
| 1. Club Med | 10. Mandarin Oriental | 19. Shake Shack |
| 2. Costa Coffee | 11. McCain Foods | 20. Sodexo |
| 3. General Mills | 12. McCormick | 21. Starbucks |
| 4. Groupe Holder | 13. MGM Resorts International | 22. Travel + Leisure Co. (formerly
Wyndham Destinations) |
| 5. Groupe Le Duff | 14. Mondelez | 23. Yum! Brands |
| 6. IHG | 15. Nestlé | |
| 7. Ikea | 16. Norwegian Cruise Line | |
| 8. Inspire Brands | 17. Pepsico | |
| 9. Krispy Kreme | 18. Puratos | |

ティアD

8 社はケージフリーの公約を掲げていますが、進捗状況を報告していません。

- | | | |
|-----------------|----------------------|----------------------------------|
| 1. Aman | 4. Hotel Matsumoto | 7. Millennium & Copthorne Hotels |
| 2. Best Western | 5. IMU Hotel Kyoto | 8. Pierre Herme |
| 3. Focus Brands | 6. Le Pain Quotidien | |

 マレーシア



ティアA

5社が100%ケージフリー卵をマレーシアまたはアジアで調達することに完全移行しました。

- | | | |
|-----------|----------------------|------------------------|
| 1. Bridor | 3. Danone | 5. The Hershey Company |
| 2. Carma | 4. Marks and Spencer | |

ティアB

11社が期限を明確に定めた公約を掲げ、マレーシアまたはアジアにおけるケージフリー方針の実施状況を共有しています。進捗率は0%から99%までです。

- | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------------|
| 1. Accor | 5. Kraft Heinz | 9. Radisson Hotel group |
| 2. Four Seasons | 6. Marriott | 10. RBI |
| 3. Hilton | 7. Minor Foods | 11. Unilever |
| 4. Hyatt | 8. Minor Hotels | |

ティアC

18社がケージフリー卵の公約を掲げ、ケージフリーの進捗状況を共有していますが、マレーシアやアジアでの進捗情報が不足しています。

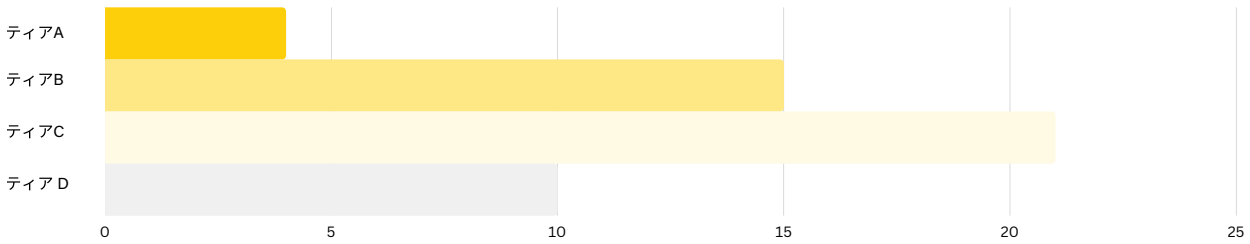
- | | | |
|------------------|-----------------------|--------------------|
| 1. Club Med | 7. Inspire Brands | 13. Nestlé |
| 2. Costa Coffee | 8. Krispy Kreme | 14. Pepsico |
| 3. General Mills | 8. Lotus's | 15. Puratos |
| 4. Groupe Holder | 10. Mandarin Oriental | 16. Sodexo |
| 5. IHG | 11. McCain Foods | 17. Wyndham Hotels |
| 6. Ikea | 12. Mondelez | 18. Yum! Brands |

ティアD

5社はケージフリーの公約を掲げていますが、進捗状況を報告していません。

- | | |
|-----------------|----------------------------------|
| 1. Best Western | 4. Millennium & Copthorne hotels |
| 2. Focus Brands | 5. Subway |
| 3. Melía Hotels | |

THAILAND



ティアA

4社が100%ケージフリー卵をタイまたはアジアで調達することに完全移行しました。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. Danone | 3. Marks and Spencer |
| 2. Lemon Farm | 4. Sunshine Market |

ティアB

15社が期限を明確に定めた公約を掲げ、タイまたはアジアにおけるケージフリー方針の実施状況を共有しています。進捗率は0%から99%までです。

- | | | |
|------------------------|------------------|--------------------------|
| 1. Accor | 6. Kraft Heinz | 11. SaladStop! |
| 2. Central Food Retail | 7. Lotus's | 12. Radisson Hotel group |
| 3. Four Seasons | 8. Marriott | 13. RBI |
| 4. Hilton | 9. Minor Foods | 14. The Peninsula Hotels |
| 5. Hyatt | 10. Minor Hotels | 15. Unilever |

ティアC

21社がケージフリー卵の公約を掲げ、ケージフリーの進捗状況を共有していますが、タイやアジアでの進捗情報が不足しています。

- | | | |
|-------------------|----------------------|--|
| 1. Club Med | 9. Mandarin Oriental | 17. Sodexo |
| 2. General Mills | 10. McCain Foods | 18. SSP |
| 3. Groupe Holder | 11. McCormick | 19. Travel + Leisure Co. (formerly Wyndham Destinations) |
| 4. IHG | 12. Mondelez | 20. Wyndham Hotels |
| 5. Ikea | 13. Nestlé | 21. Yum! Brands |
| 6. Inspire Brands | 14. Pepsico | |
| 7. Kempinski | 15. Puratos | |
| 8. Krispy Kreme | 16. Shake Shack | |

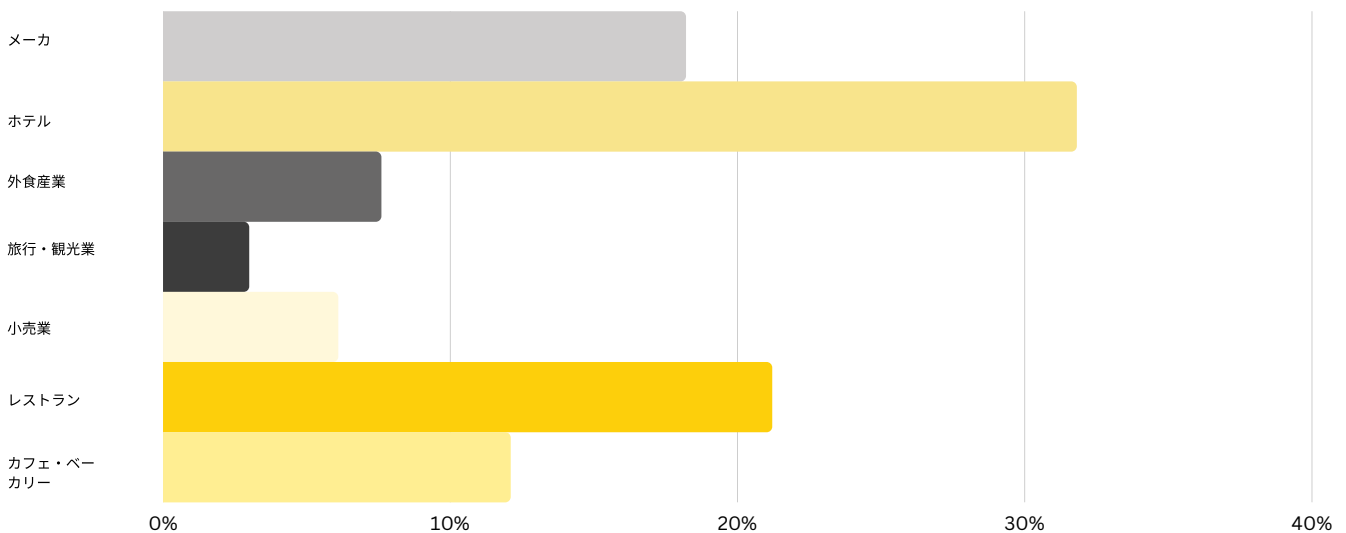
ティアD

10社はケージフリーの公約を掲げていますが、進捗状況を報告していません。

- | | | |
|-----------------|----------------------------------|------------|
| 1. Aman | 5. Food Passion | 9. Rewe |
| 2. Au Bon Pain | 6. Melía Hotels | 10. Subway |
| 3. Best Western | 7. Millennium & Copthorne Hotels | |
| 4. Focus Brands | 8. Pierre Herme | |

その他の データ

本レポートで評価された企業数が最も多かった業界はホテルで、ケージフリーのコミットメントの31.8%を占めました。2位はレストランで21.2%、3位は製造業で18.2%。4位はカフェ・ベーカリーで12.1%、5位は外食産業で7.6%、6位は小売業で6.1%、3位は旅行・観光業で3%でした。



ケージフリー進捗状況：数字で見る

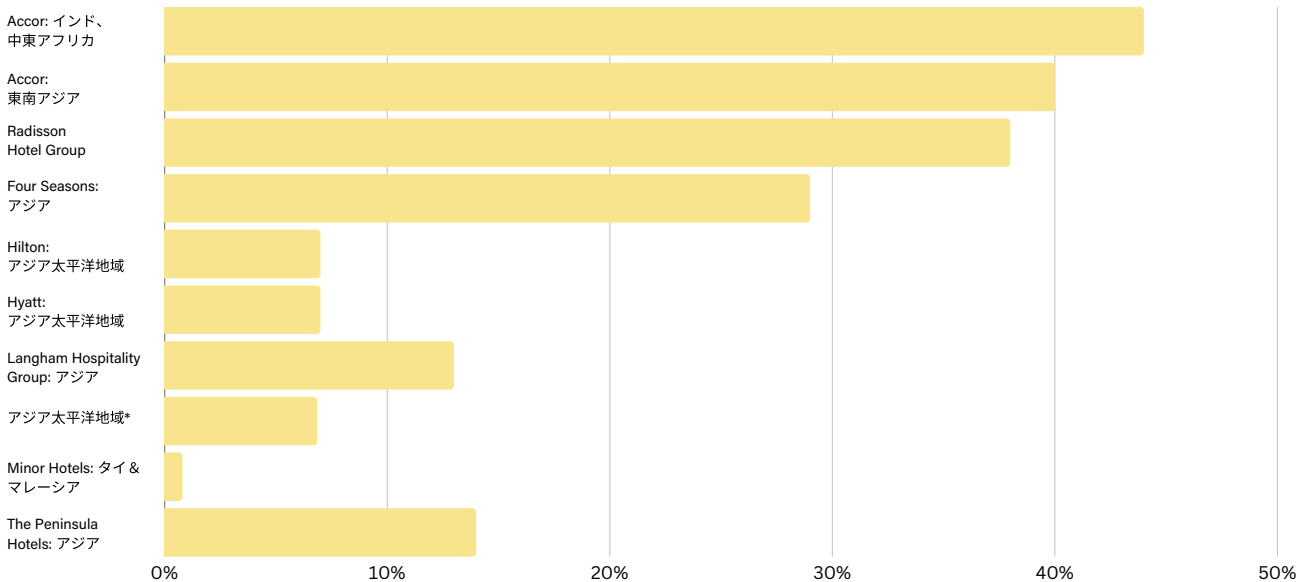
本レポートでは複数の業界を追跡しているため、各企業がサプライチェーンで使用している卵製品の種類（全種類、殻付き卵、液卵、冷凍卵製品、卵粉）が異なる場合があります。また、使用する卵の種類によって、進捗状況の分類も異なる可能性があります。

さらに、このような観点から持続可能性への取り組みを報告する際、企業はそれぞれ異なる指標を用いることがあります。卵の調達に費やした金額を報告する企業もあれば、卵の総調達量を開示する企業もあります。

アジアのケージフリー進捗状況：全種類の卵（殻付き卵および殻なし卵）

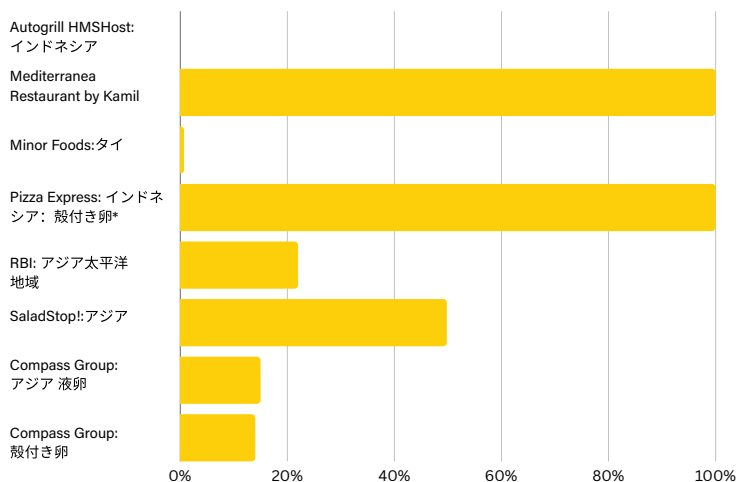
以下は、特にアジア地域における全種類の卵（殻付き卵および卵製品）の使用に関する各社のケージフリーの進捗状況です。

ホテル



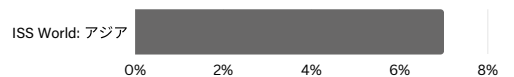
*これは、中国において第三者により運営されている同チェーンのホテルを除いたものです。

レストラン

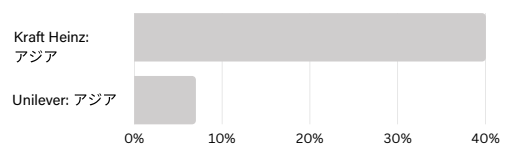


*Pizza Expressはインドにも進出していますが、インドでは現地の法律によりケージフリーの認証を受けていないため、進捗状況を報告していません。

フードサービスプロバイダー



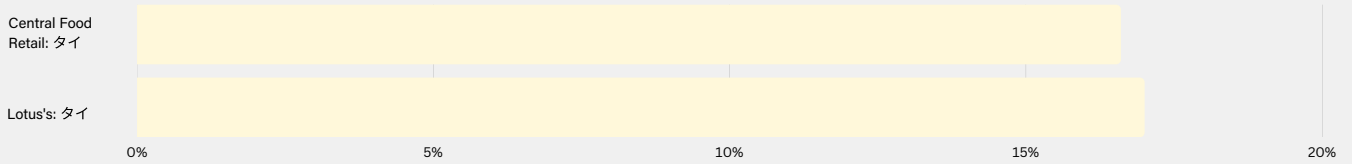
メーカー



アジアのケージフリー進捗状況：殻付き卵

以下は、特にアジアにおける殻付き卵の使用に関する各社のケージフリーの進捗状況です。

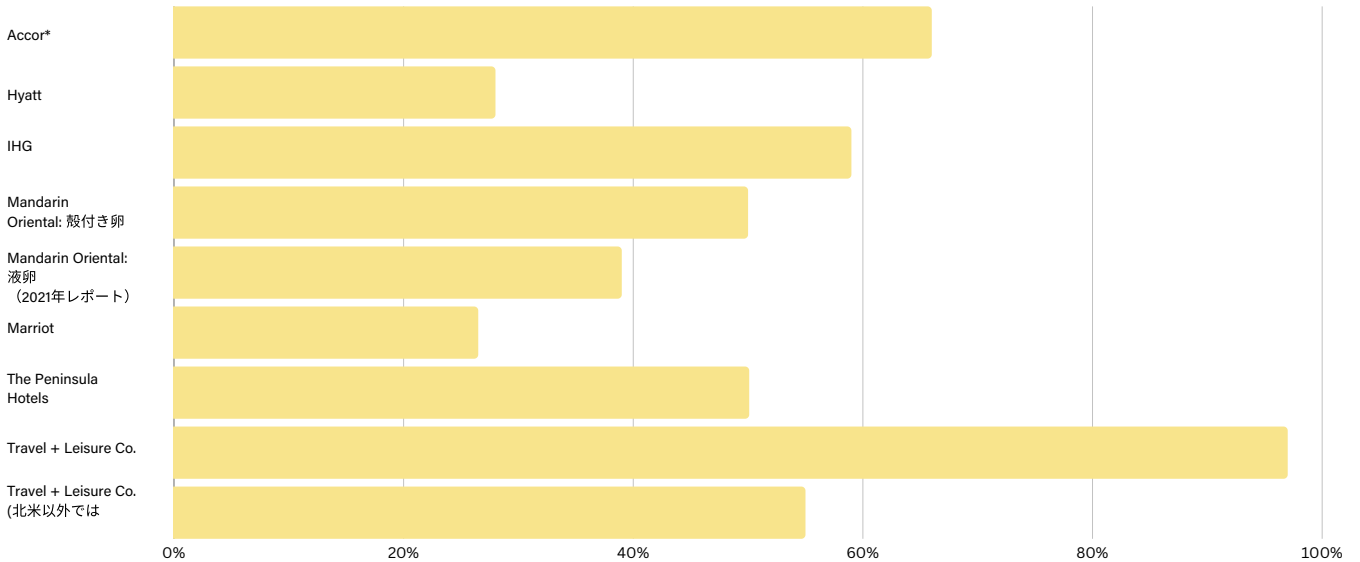
小売業者



世界のケージフリー進捗状況

以下は、各社の卵のケージフリー化に関する世界的な進捗状況です。アジアについては明記されていませんが、記載されている5カ国のうち少なくとも1カ国に進出している企業です。

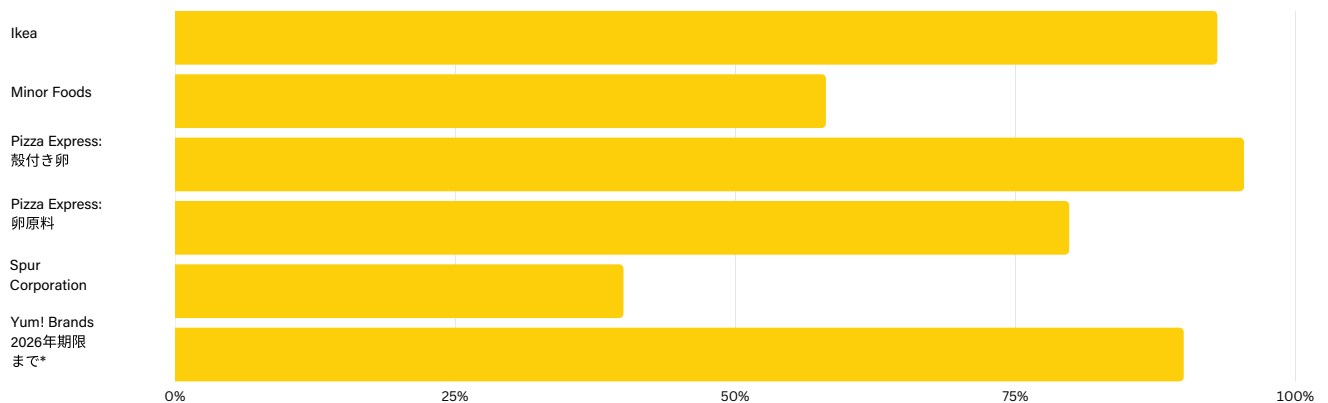
ホテル



*アコーは、殻付き卵および卵製品の両方について、卵の交換量ではなく、ケージフリー方針を導入しているホテルの数に基づいて報告しています。

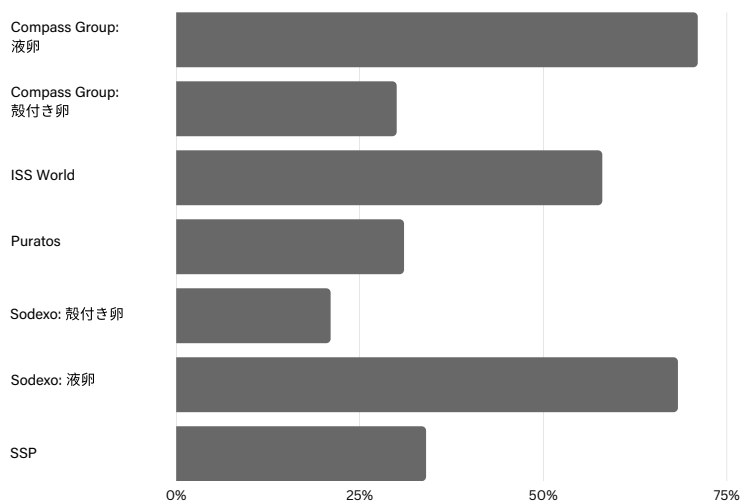
**この数字は、すべての経営ホテルおよびフランチャイズホテルの卵の供給量を合算したものです。

レストラン

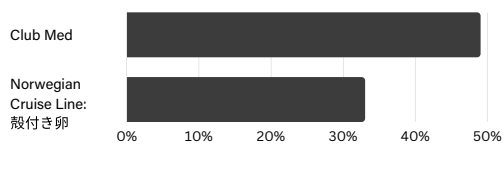


*Yum! Brandsは2026年と2030年の2つの期限を定めています。2026年までの期限は、レストラン25,000店舗（米国、西ヨーロッパ、その他を含む）が対象で、2030年までの期限は、世界中で完全にケージフリーになることです。

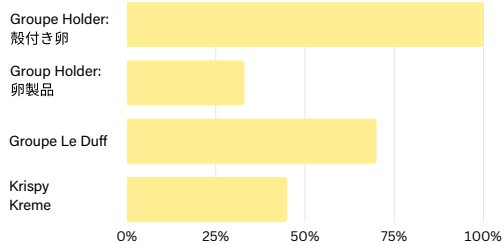
フードサービスプロバイダー



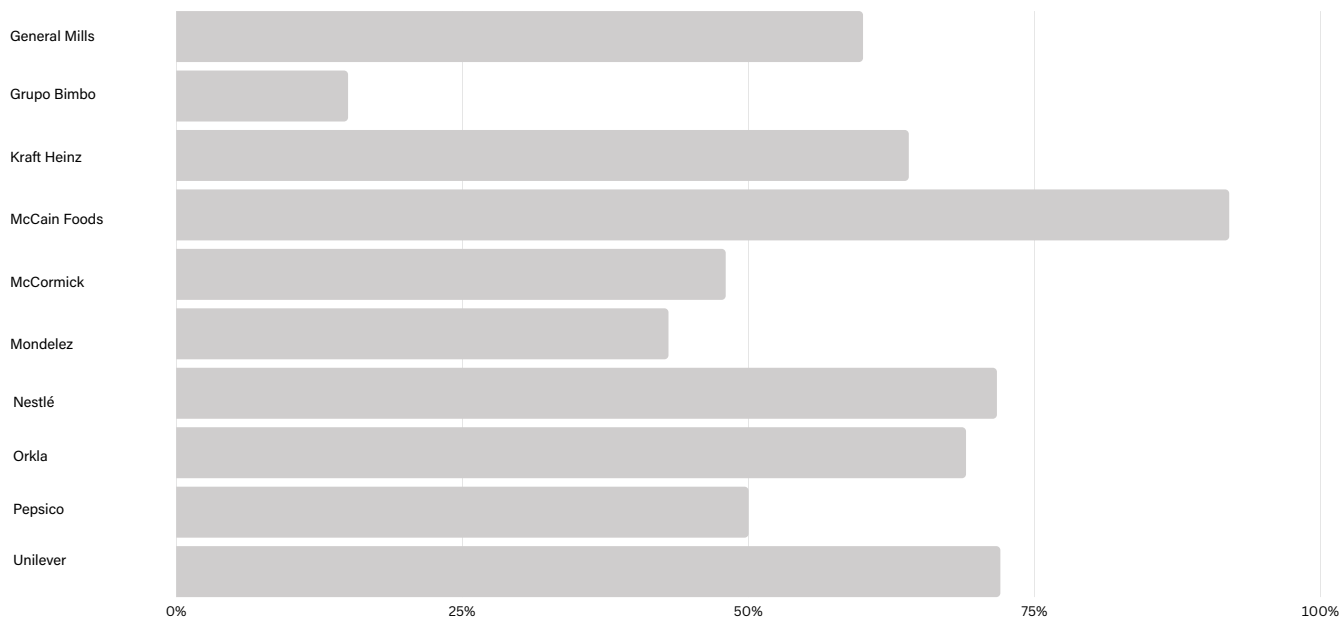
旅行・観光業



カフェ・ベーカリー



メーカー



課題

本調査では、一部の企業のケージフリーへの移行に関する定量的データを収集しましたが、同時に、ケージフリーへの移行を妨げる障害についても明らかにすることに努めました。最も多く挙げられた理由のいくつかは以下の通りです：



サプライチェーンの混乱

鳥インフルエンザは、依然として世界的に鶏卵の供給源と入手可能性に影響を及ぼしており、日本および中国を含む特定の市場におけるケージフリー卵製品の入手可能性に影響を与えています。また、新型コロナウイルスのパンデミックも、サプライチェーン、オペレーション、製品の入手可能性に影響を与えたと指摘されています。



高いコスト

バタリーケージ卵に比べてケージフリー卵の高いコストに対し、消費者がその追加料金を支払う意欲の低さが関係しています。



サプライヤーは限られています

ケージフリー認証を持つサプライヤーは限られています。



データ

多様な地域で運営するさまざまなパートナーからの卵の使用データを収集し、統合することは、世界の平均的な進捗を算出する際の課題を提起することがあります。



飼料コストの上昇

飼料コストの上昇；農家は市場の不確実性が高いため、新しい農場への投資に消極的になっています。

タイ のケージフリー 一卵生産者

2023年1月、Sinergia Animalは、メール、LinkedIn、ソーシャルメディアなど、さまざまなチャンネルを通じて、タイ国内の15社のケージフリー一卵生産者に連絡を取りました。生産方法と移行計画に関する重要情報を収集するために、包括的なアンケートが配布されました。

生産者に関する情報を収集する初めての経験として、当団体の目標は、タイのケージフリー一卵生産者を特定し、その生産慣行と基準によって分類することでした。この情報は、ケージフリーのサプライチェーンに切り替えようとしている企業や、そのために新しい生産者を必要としている企業にとって役立ちます。連絡を取った15社の生産者のうち4社が参加し、アンケートに回答し、ケージフリー生産に関してどの程度進んでいるかを報告しました。

ケージフリートラッカーを通じて進捗状況を共有することで、透明性および協力への取り組みを示しています。当団体は、他の生産者にも同様の取り組みをしていただき、次回のレポートで卵の生産方法を共有していただくことを推奨しています。

15 社の生産者に連絡

27% の生産者が回答

13% の生産者が100%ケージフリー生産（認証の有無に関わらず）と回答

タイを選ぶ理由とは？

タイ国内の企業は、ケージフリー卵の希少性を重要な課題として認識しています。ケージフリー卵生産者のためのランキングシステムの導入は、これらの企業がその選択を評価し、サプライヤーの比較を行う際に役立つことが期待されます。また、このデータは、企業にとって貴重な知見を提供し、サプライヤーに関する十分な情報に基づいた意思決定を促進することで、ケージフリー卵の採用を加速させることが期待されます。



分類

以下は、連絡を取ったケージフリー卵の生産者の分類と、その生産者がどの段階でケージフリー卵に切り替えているのかを示したものです。これは、消費者、小売業者、および関係者の意思決定プロセスにおいて、貴重な洞察と指針を提供することを意図しています。

<p>100%ケージフリー生産（認証あり）</p>  <p>Hilltribe Organics</p>
<p>100%ケージフリー生産（認証なし）</p>  <p>Klong Phai Farm</p>
<p>30-50% ケージフリー生産</p> <p>現在、タイでこの範囲に合致する生産者はいません。</p>
<p><30% ケージフリー生産</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>CPF</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Sanguanfarm</p> </div> </div>
<p>ケージフリー生産も一部行われていますが、報告されていません。</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: repeat(4, 1fr); gap: 10px;"> <!-- Row 1 --> <div style="text-align: center;">  <p>Akara Group</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Betagro</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>KTF Farm</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Kasemchai Foods</p> </div> <!-- Row 2 --> <div style="text-align: center;">  <p>Sirin Farm</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Naeville</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>King Organic</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>N&P Foods</p> </div> <!-- Row 3 --> <div style="text-align: center;">  <p>Laemthong</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Tan Khun Organic Farm</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Ploikai</p> </div> </div>

本プロジェクトの広範な目標は、タイのケージフリー卵生産者のための一元化された情報プラットフォームを確立することです。このプラットフォームは、包括的なリソースハブとして機能し、知識の交換、ベストプラクティスの共有、生産者間の協力を促進することを目的としています。また、一元化されたプラットフォームを構築することにより、業界全体でケージフリーシステムの導入を加速させる環境を促進し、最終的にはタイの卵生産業界における動物福祉の向上と持続可能性の促進を目指します。

追加の支援

調査に回答した生産者の100%が、ケージフリーシステムへの移行に関して、トレーニング、財政支援、マーケティング支援、地方出荷のための物流支援など、追加の支援を望んでいます。

課題

調査対象となった生産者の大多数が、ケージフリーシステムを採用する際の大きな課題として、生産コストを挙げています。彼らは、ケージフリーシステムへの移行に必要なとされる初期投資が、市場の要求と相まって大きな懸念材料となっていることを強く指摘しています。

今後の展望

多くの生産者の生産量はケージフリー卵の需要に大きく左右されます。当団体は、ケージフリーの取り組みを公表することで、企業が積極的な取り組みを行うことを奨励します。さらに、その進捗状況を定期的に報告することで、ケージの生産者生産量を削減することへの確固たる意志を示すことを提唱します。これにより、これらの企業は、より残酷ではない慣行への移行を進める生産者を支援する極めて大きな役割を果たすこととなります。また、ケージフリー卵に対する十分なニーズがあれば、生産者は生産量を増やしたいと考えるでしょう。つまり、バタリーケージ方式に伴う残酷さと人体へのリスクについての認識を高めることが、今後の課題として不可欠なのです。



次の ステップ

この結果を通じて、多数の企業の参加と進捗が増加し、報告における全般的な改善が明らかになりました。企業の年次計画や持続可能性戦略の一環として、進捗状況の報告が行われるようになり、企業の透明性が高まったと考えられます。特にアジアでは今年、より多くの企業が年次レポートの一部としてケージフリーの進捗状況を記載するようになりました。

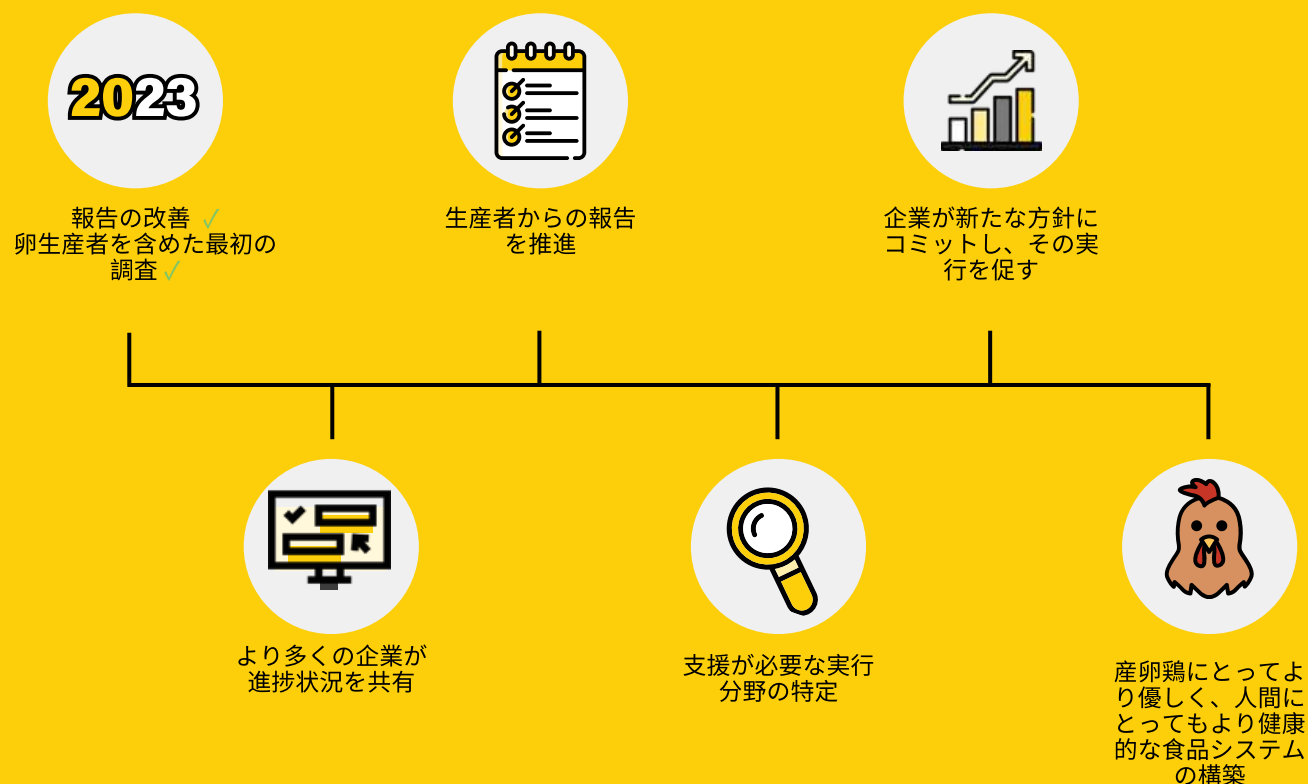


今後は、ケージフリー方針の導入が進み、標準的な慣行となるにつれ、さらに多くの企業がその進捗状況を共有するようになる予想されます。

より人道的な環境で鶏が飼育されるようにするためには依然として取り組むべき課題はありますが、アジアの企業による前進は心強いものです。また、多くの企業がバタリーケージからの卵の調達をやめることを表明することで、業界全体が移行する動機付けとなり、動物福祉基準の向上とより持続可能な食品システムにつながるでしょう。

Sinergia Animalは、各企業が対話に参加し、地域レベルでの進歩を共有し、どの分野でさらなる支援が必要かを表明いただくことをお待ちしています。当団体は、ケージフリートラッカーが、より倫理的で健康的なアプローチに向けた企業の取り組みを促し、企業の責任を追及し、その成果を示し、業界における透明性を促進するプラットフォームとなるよう心より願っています。

詳細は www.cagefreetracker.crm のウェブサイトをご覧ください。





会社概要

Sinergia Animalは、飼養動物の苦しみを減らし、より思いやりのある食の選択を促すために、グローバルサウスの国々で活動する国際的な動物保護団体です。

私たちは、動物慈善団体評価者(ACE)によって世界で最も効果的な動物保護NGOの1つとして認められています。



www.sinergiaanimalinternational.org